

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2025年 No.1

バンコク通信

～大きな潜在性を秘めた新興国「バングラデシュ」～

アセアントピックス（ベトナム）

～ベトナムの政治情勢の近況～

アセアンコラム

～シンガポール旧正月の初詣をご紹介します～

～束となっているケーブル～

～旧市街の観光スポット「トレインストリート」～

ニュース一覧

バンコク通信

～潜在性を秘めた新興国「バングラデシュ」～

- ▶ 近年、巨大市場として「インド」が注目を集めていますが、その隣国「バングラデシュ」も高い経済成長が見込まれる新興国のグループ「NEXT11」の一国として評価されています。
- ▶ 今回は世界第8位の人口（1.7億人）を有し、マクロ経済が堅調に推移する同国についてレポートします。

図1

基礎情報

国名	バングラデシュ人民共和国
面積	14万7,570 km ² （日本の約4割）
人口	1億7,119万人（2023年）
首都	ダッカ（人口2,074万人）
言語	ベンガル語
宗教	イスラム教91%、ほか
日系企業数	338社（2023年5月）
主要産業	繊維・衣料産業、農業
GDP	4,602億USD（2022年）
一人当たりGDP	2,688USD（2022年）
GDP成長率	5.8%（2022年）
消費者物価上昇率	9.0%（2022年）

図1（出所）JETRO、世界銀行

図2

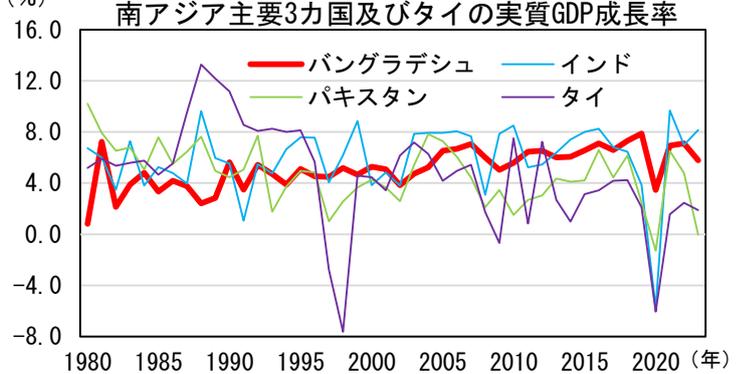


図3

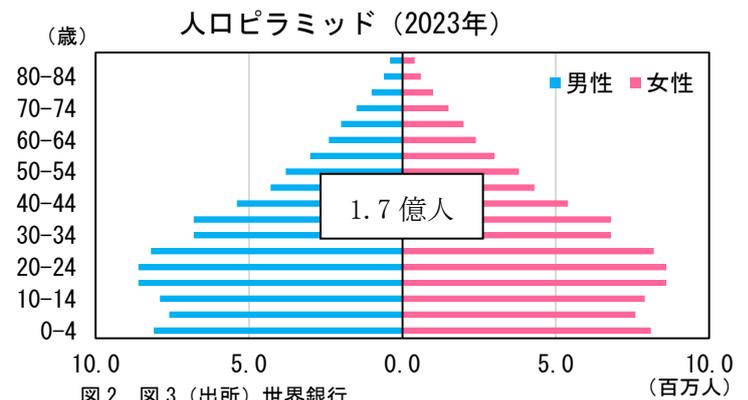


図2、図3（出所）世界銀行

経済規模・人口動向

南アジアに位置するバングラデシュは、かつてアジアの最貧国として認知され、現在でも国連が認定する後発開発途上国（Least Developed Country）¹に分類される国です。しかしながら、所得・生活水準の向上により、国連総会の決議で2026年11月に後発開発途上国からの脱却が予定されるなど、近年目覚ましい経済成長を遂げています。世界銀行が発表した実質GDPランキングでは世界43位（インド：6位、パキスタン：36

位、タイ：29位）に位置し、南アジアの主要国であるインドやパキスタン、タイと比較しても大きな浮き沈みなく安定して成長しています（図2）。

バングラデシュは日本の約4割の国土に1.7億人が暮らす、世界でも極めて人口密度が高い国です。豊富な労働力に加えて人件費が低廉であることから、繊維・衣料産業や農業などの労働集約型産業が主要産業となっています。特に同国の輸出の8割を占める繊維・衣料産業については、衣料品の世界輸出シェアで中国に次ぐ2位となっており、経済を牽引する産業となっています。

豊富な労働力を有するバングラデシュは、年齢の中央値は25歳と若年層が非常に多いことが特徴です（図3）。同国は1990年以降人口ボーナス期を迎えており、労働人口の増加は2040年代後半まで続くとみられ、消費市場としても注目され始めています。

¹ 経済や産業が十分に進んでいない国を表す「開発途上国」のうち、特に経済発展が遅れている国を指す。2024年12月現在、世界44か国が認定されている。



首都ダッカの空港



通勤時の街の様子（チッタゴン）

日系企業動向

潜在性・成長性のある同国に着目し、足元では日本企業の進出は増加傾向にあります。ジェットロによると、日系の進出企業数は 338 社（2023 年 5 月）と 10 年前と比較して約 2.5 倍増加しています。人口ボーナスという強みを活かせる時期に、優遇措置策などを通じていかに外資企業の投資を誘致できるかがバングラデシュの更なる経済成長のカギになると言えます。

街の印象

筆者は 2024 年 11 月に南東部の港湾都市で、国内第二の経済都市チッタゴンを訪れました。タイのバンコクから経由地である首都ダッカの空港に降り立った途端、大気汚染の影響で霧がかかっている

ような景色が辺り一面広がっていました。スイスの空気清浄器メーカー「IQ AIR」によると、PM2.5 濃度が最も高い国（2023 年）がバングラデシュとのこと。経済発展と大気汚染などの公害はトレードオフの関係にあり、目覚ましい経済発展の真只中にあることが伝わってきます。その後訪れたチッタゴン市内では、通勤ラッシュで多くの人やモビリティがひしめき合い、世界有数の人口密度の国であることを実感しました。

インフラ整備状況

インフラ面は徐々に改善が進んでいるものの、依然として多くの課題が残存しています。市内は未舗装の道路や難路が多く、車は道路上の所々にある穴を避けながら

進んでいく必要があります。加えて急速な経済成長に交通インフラ整備が追いついておらず、慢性的な渋滞が発生しています。さらに、筆者の滞在中には短時間ながら停電や水道が止まる事象も発生しました。工場では生産への影響がない体制を確立しているようですが、バングラデシュへの進出を検討する企業にとっては障壁の一つになり得ると言えます。

同国のインフラ整備には相応の時間を要する印象ですが、外資企業を誘致するにあたって、今後の改善は必至であると考えます。しかしながら、大勢の人で溢れている同国は躍動感があり、大きな潜在性・成長性を秘めている国であると感じました。

<バングラデシュ法人 企業名>

- BMS Company Limited 1993 年 1 月設立
- BMS Rope Company Limited 2000 年 12 月設立
- BKJ Jute Mills Limited 2022 年 8 月設立

<事業内容>

- ジュートヤーン（麻糸）およびロープの製造販売。



企業へのインタビュー

栃木県栃木市に本社所在の丸三産業株式会社は、バングラデシュに製造法人を3社有し、ジュートヤーン（麻糸）およびロープの製造・販売事業を営まれています。今回は日本法人・バングラデシュ法人代表取締役の中島喜代典様にインタビューをしました。

設立経緯

当社は1993年にバングラデシュに進出しました。進出以前は日本でロープの製造をしていましたが、ロープ工場は3Kの印象が根強いため人材確保が難しく、同時に働き手の高齢化が進んでいたことから、先代が海外進出を決心しました。アジア域でのフィージビリティスタディを進め、最終的に当社が使用するジュート（黄麻）の栽培が盛んな当地に進出を決定しました。

当社の特徴

当社はバングラデシュの3法人にてジュートやサイザルなどの天然繊維ロープや合成繊維ロープの製造・販売を行っております。従来、当社が使用するジュートヤーン（麻糸）は他社から調達していましたが、2022年にBKJ Jute Mills Limited を設立して以降、上流か

ら一貫生産できるようになりました。ジュートヤーンからロープまで日本クオリティで製造できる体制を構築していることが当社の強みです。昨今SDGs機運の高まりを受け、天然繊維であるジュートが注目を集めており、日本のみならず世界各国の企業から問い合わせを受けています。

事業運営について

当社はバングラデシュで約30年間事業運営をしています。インフラ面は他国に比べると未だ多くの課題がありますが、当社では自家発電装置を導入することで、生産への影響がない体制を確立しています。

事業を運営するうえで特に難しいと感じるのは従業員の教育です。バングラデシュは人口の大半がイスラム教徒であり、文化の違いを理解しながら事業を進めていく必要があると感じています。幸いにも勤勉な国民性もあり、熱心に仕事に取り組んでいただいています。また、当地では業種・国籍の垣根を越えて様々な企業と接点を有し、情報収集することも重要な活動であると感じています。

今後の方針

ジュートは通気性・保温性に優れ、丈夫な点が特徴であり、栽培時の環境負荷が少ないことからエコ素材として注目されています。当社としても同素材の製品は様々な分野で使用される可能性を秘めていると感じています。今後は様々な企業のニーズに応えるべく、新たな商品開発にチャレンジしていき、バングラデシュから日本クオリティの製品を世界中に供給していきたいと考えています。

おわりに

バングラデシュは、インフラ整備など課題は多いですが、今後の成長が期待できる国と言えます。バンコク駐在員事務所では、今後もバングラデシュを含めた近隣諸国の情報収集及び情報発信をしてまいります。

また、めぶきフィナンシャルグループでは外部機関とも連携しながら、海外への事業展開されているお客さまのサポートを行っております。海外に関するご相談がございましたら是非お気軽にご相談ください。

足利銀行バンコク駐在員事務所
田口 直之



筆者撮影及び丸三産業株式会社より提供

アセアントピック

～ベトナムの政治情勢の近況～

- ▶ ベトナムでは2023年から2024年にかけて、汚職事件の摘発による共産党首脳陣の度重なる辞任や党前書記長の死去による13年ぶりの最高指導者交代など、政治情勢が大きく変化しています。
- ▶ 現在、新書記長の下で行政改革を計画していますが、ベトナムにおける政治情勢の変化および今後の外交政策の見通しについてレポートします。

(表1) ベトナムの政治体制

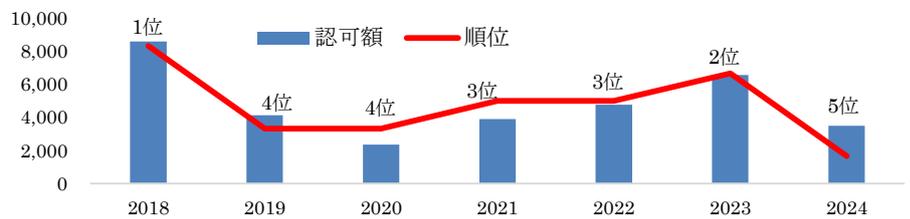
党内序列	役職	氏名(年齢)	赴任時期
1位	共産党書記長 (党トップ・最高指導者)	トー・ラム(67才)	2024年8月
2位	国家主席 (内政や外交で国を代表)	ルオン・クオン(67才)	2024年10月
3位	首相 (経済政策の執行)	ファム・ミン・チン(66才)	2021年4月
4位	国会議長 (国会の運営)	チャン・タイン・マン(62才)	2024年5月



(表2) 直近2年のベトナム首脳陣の交代状況

年月	イベント
2023年1月	副首相2名 辞任 (ファム・ビン・ミン氏、ブー・ドク・ダム氏)
2023年3月	国家主席 辞任(グエン・スアン・フック氏)
2024年4月	国家主席 辞任(ボー・バン・トゥオン氏)
2024年5月	国会議長 辞任(ブオン・ティン・フエ氏)
2024年7月	共産党書記長 死去(グエン・フー・チョン氏)
2024年8月	共産党書記長を国家主席トー・ラム氏が兼務
2024年10月	国家主席 就任(ルオン・クオン氏)

日本からベトナムへのFDI認可額推移(単位:百万米ドル)



政治体制と現状

ベトナムは共産党一党支配の社会主義国家で、党の指導の下で統治されています。国家運営は党書記長、国家主席、首相、国会議長の「四柱(しちゅう)」による集団指導体制で行われています(表1²)。

チョン前書記長の反汚職運動により、2023年から2024年6月にかけて、国家主席等の高官が相次いで辞任し、約3万2000人の党員が懲戒処分を受けました。

2024年7月にチョン前書記長の死去を受けて就任したトー・ラム新書記長は、反汚職の継承や省庁再編等の行政改革、経済発展に注力する姿勢を示しています(表2³)。

行政改革の概要

2025年1月現在、省庁統廃合等

を計画しており、省庁数を現行の30から22に削減し、地方政府も再編する方針です。本計画は2025年第1四半期を目途に確定するとされています(写真⁴)。

許認可遅延による日系企業の影響

反汚職の厳格な運用を背景に、事後の責任追及を恐れ、行政機関の幹部が許認可の承認を遅らせる事例が発生しています。これは日系企業のベトナム進出計画を長期化させる要因となっています(グラフ⁵)。

行政改革による期待

現在計画中の省庁再編により以下の改善が期待されています。

- ✦ 許認可取得の迅速化: 手続き窓口の一本化による行政手続きの迅速化
- ✦ 透明性向上: 政治腐敗や手続きの不透明さの軽減

- ✦ コスト削減: 手続きの簡潔化によるコスト軽減

今後の外交政策の見通し

2025年1月に米国大統領に就任するトランプ氏の政権下で、米中貿易摩擦が再燃するのではないかとされており、その場合、日系企業を含む外資系企業は中国からベトナムへの生産拠点移管を加速させる可能性があります。

ベトナムにとって米国は最大の輸出国であり、中国は最大の輸入国です。ベトナム政府は「全方位外交」を標榜していますが、汚職撲滅や行政改革等の内政に加え、対米中の外交バランス維持政策等、トランプ氏就任後のベトナムの政策動向にも注視が必要です。

※本稿は2025年1月に作成。
常陽銀行ハノイ駐在員事務所
グエン・ティ・トゥイ

² 出所: ベトナム共産党電子新聞サイト、憲法2013年を基に筆者作成

³ 出所: ベトナム共産党電子新聞サイトを基に筆者作成

⁴ 省庁再編計画等を討議する国会(筆者撮影)

⁵ 出所: ベトナム計画投資省のデータを基に筆者作成

アセアン駐在員コラム



～シンガポール旧正月の初詣をご紹介します～

2025年の旧正月は1月29日が元旦です。中華系の人々が多い当地にはきらびやかな中華寺院が多数あり、旧正月ならではの赤メイン（赤は福を招く幸運の色）の装飾に様変わりします。寺院内では繁栄と幸福を表す赤い提灯と、黄金の実がなることから金運を呼ぶとされる金柑の鉢植えなどを多く目にします。初詣は日本同様、元旦には人がごった返します。私が寺院の方から教えていただいたお参りの仕方は、まず入口で線香を購入し、中心の観音様にお線香をあげます。次に寺院の方に指示された順番で境内の観音様に、最後は出口近くの観音様にお線香をあげ、お参り終了です。赤い服を着てお参りに行くのが私の元旦の過ごし方です。



常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順



～東となっているケーブル～

バンコクの街中では、何本も東になっているケーブルを多く見かけます。使用できなくなったケーブルを撤去せず、新しいケーブルを設置し続けたことによりこの光景が誕生しました。何重にも張り巡らされたケーブルは街の景観を損ねるだけでなく、ケーブルが垂れ下がり事故に繋がる恐れもあります。

現在、首都圏配電公社が中心となり、不要なケーブルの撤去を段階的に行うとともに、主要道路では電柱を撤去し地中に埋設する無電柱化工事を進めています。実際に街を歩くと、中心地の主要道路周辺では無電柱化が進んでいるものの、一本通りを入ると未だケーブルが絡まりあっている光景が見られます。バンコクの不要なケーブルが完全に撤去されるまでには時間がかかりそうです。



バンコクトレーニー
大澤 裕貴



～旧市街の観光スポット「トレインストリート」～

ハノイ旧市街にある「トレインストリート」は、線路のすぐ近くに家々が並ぶユニークな観光スポットです。一時期、外国人観光客が列車と接触する事故が発生し、一部区間が閉鎖されていたこともありましたが、現在は通常通り訪れることができます。

線路沿いでは多くのカフェが営業しており、コーヒーなどの飲み物を注文して席に座るのがおすすめです。列車の通過10分ほど前になると、カフェの店員らが交通整理を始め、周囲に期待感と緊張感が漂います。そして、遠くで汽笛の音が聞こえてから目の前を列車が通過する約2分間、スリリングな体験を楽しむことができます。

筆者が訪れた当日も多くの観光客でにぎわっており、欧米系の観光客も多く見受けられました。ハノイにお越しの際は、ぜひ足を運んでみてください。



常陽銀行ハノイ駐在員事務所
駐在員 赤津 翔太

アセアン各国ニュース

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (1/6) 24年の経済成長率4.0%、製造業回復で拡大
- (1/9) 企業景況感が改善、4割が「現況に満足」=SBF調査

マレーシア



- (1/16) 中銀、インフレ加速で年内利上げの可能性
- (1/20) 24年のGDP成長率5.1%、統計局見込み

タイ



- (1/10) 今年のGDP伸び率2.8~3.2%=商工会議所予測
- (1/14) 24年の投資申請35%増の5.2兆円、過去10年で最大

インドネシア



- (1/16) 24年の輸出2%増、2年ぶりプラス
- (1/16) 政策金利5.75%に引き下げ、経済成長促す

フィリピン



- (1/13) FDI純流入額、10月50%増と高水準
- (1/14) 25年は6%成長回復へ 上位中所得国入り、利下げ回数減

ベトナム



- (1/8) 24年海外直接投資、実行額9%増で過去最高
- (1/20) ホーチミンGDP、7.2%増 24年伸び加速、ハノイは6.5%

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (1/17) コンテナ貨物取扱量、24年も過去最高更新
- (1/21) 12月の輸出額9%増、電子の2桁増続く

マレーシア



- (1/13) 11月の失業率3.2%、4カ月連続で横ばい
- (1/21) 24年の輸出額、前年比5.7%増

タイ



- (1/8) 24年の外国人観光客3500万人、収入8兆円
- (1/10) 日本食店数3%増で過去最大 成長は鈍化、総合和食が1位に

インドネシア



- (1/13) 24年二輪販売、前年比1.5%増の633万台
- (1/15) 24年の新車販売14%減、2年連続で前年割れ

フィリピン



- (1/9) 11月失業率3.2%、5カ月ぶり低水準
- (1/15) 新車販売、過去最高の47万台 24年、利下げや手頃なローンで

ベトナム



- (1/17) 新車市場、50万台迫る24年2割増、ビンFけん引
- (1/21) 24年対米輸出、23%増 電子36%増、輸入は中台韓が拡大

(出所 NNA・亜州ビジネス)

めぶきフィナンシャルグループでは、お客様の海外ビジネスをサポートさせていただきます。
常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。

常陽銀行 上海駐在員事務所

所在地 上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
電話 +86-21-6209-0258

常陽銀行
上海代表处
THE JOYO BANK, LTD.

足利銀行 香港駐在員事務所

所在地 Suite 1601, 16th Floor, Tower 2,
The Gateway, Harbour City,
Kowloon, Hong Kong
電話 +852-2251-9475

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
HONG KONG REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所

所在地 1270 Avenue of the Americas,
Suite#555, New York, NY 10020
電話 +1-917-388-2400

THE JOYO BANK, LTD.
NEW YORK REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ハノイ駐在員事務所

所在地 5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi
電話 +84-24-3218-1668

THE JOYO BANK, LTD.
HANOI REPRESENTATIVE OFFICE

足利銀行 バンコク駐在員事務所

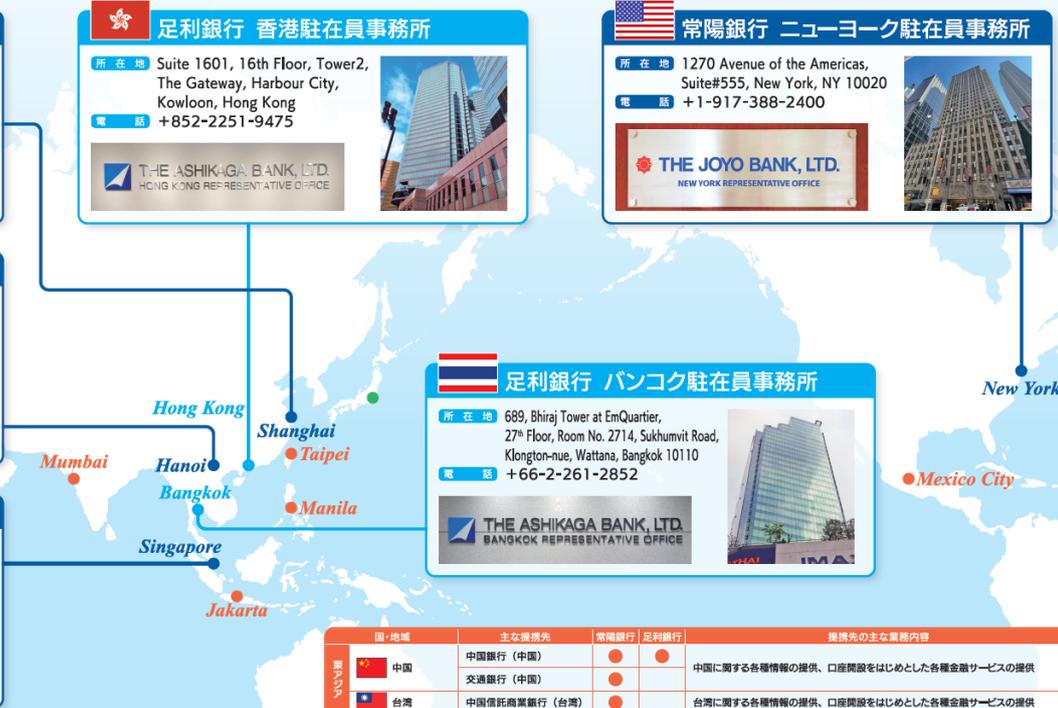
所在地 689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road,
Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110
電話 +66-2-261-2852

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
BANGKOK REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所

所在地 10 Collyer Quay, #09-07A,
Ocean Financial Centre,
Singapore, 049315
電話 +65-6225-6543

THE JOYO BANK, LTD.
SINGAPORE REPRESENTATIVE OFFICE



主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
● 日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度情報の提供
● 国際協力銀行 (JBIC)	●	●	海外展開支援融資の提供
● 日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸取出引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
● 中小企業基盤整備機構	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 損害保険ジャパン	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 三井住友海上火災保険	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供
● セコム	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供
● 総合警備保障	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供

国・地域	主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
東アジア	● 中国	● 中国銀行 (中国) 交通銀行 (中国)	● ●	中国に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● 台湾	● 中国信託商業銀行 (台湾) カシコン銀行	● ●	台湾に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● タイ	● バンコク銀行	● ●	タイに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
東南アジア	● インドネシア	● バンクネガラインドネシア CIMBニエガ銀行	● ●	インドネシアに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● ベトナム	● ヴィエティンバンク ベトナム外資投資行	● ●	ベトナムに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● フィリピン	● バンコ・デ・オロ・ユニオンバンク メトロポリタン銀行	● ●	フィリピンに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
中米	● インド	● インドステイト銀行	● ●	インドに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	● メキシコ	● パナメックス アグアスカリエンテス州政府、 ハリスコ州政府ほか	● ●	メキシコに関する現地市場情報・投資情報の提供

Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。よろしくお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部
足利銀行市場国際部

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315
TEL:+65-6225-6543 E-mail : singapore@joyobank.co.jp

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road,
Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
TEL:+66-2-261-2852 E-mail : bangkokrep@ashikagabank.co.th

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:+84-24-3218-1668 E-mail : hanoi@joyobank.co.jp